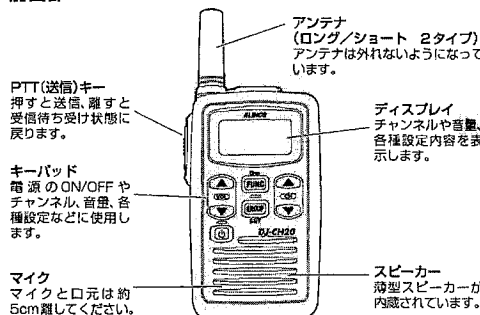


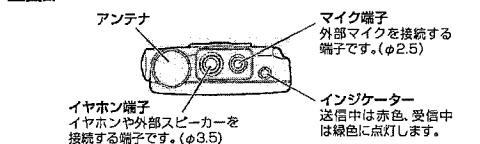
各部の名前とはたらき

前面部

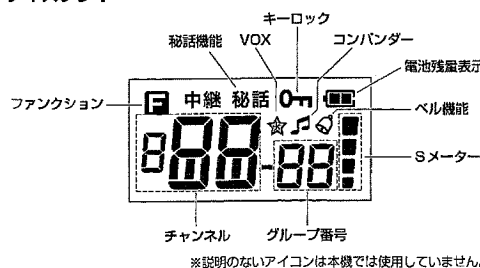


※イラストは、ショートアンテナタイプです。

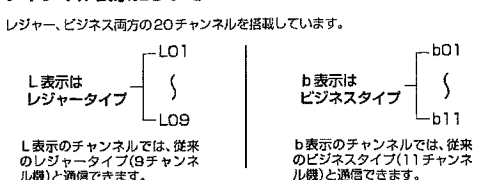
上部部



ディスプレイ



チャンネル表示について

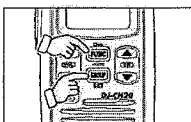


セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- [FUNC] キーを押しながら [GROUP] キーを押します。
→ セットモードに入り、項目が表示されます。
- [GROUP] キーを押すごとに項目が切り替わります。
- [FUNC] キーを押すと前項目に戻ります。
- CH [▲/▼] キーを押して設定値を変更します。
- [PTT] キーを押して設定を完了します。



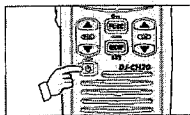
※ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> → 「電子事業」

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

■電源を入れる

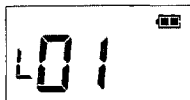
[○] キーを約 2 秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。



■音量を調整する

VOL [▲/▼] キーを押す

ディスプレイに音量レベル [vol-15] が表示されます。
キーを押すと「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は 0 ~ 30 の 31 段階で、初期状態は「15」に設定されています。



■チャンネルを合わせる

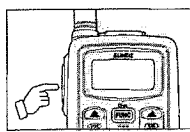
CH [▲/▼] キーを押す

通話したいトランシーバーすべてを同じチャンネルに合わせます。L (レジャー)、b (ビジネス) の表示に注意して合わせてください。

※ キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケータが緑色に点灯し、ディスプレイの S メーターが信号の強さに応じて点灯します。



■送信する

信号を受信していないことを確認してから [PTT] キーを押します。
インジケータが赤色に点灯し、S メーターも同時に点灯します。

※ 一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警音(ブザー)が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

[PTT] キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

コールトーン機能

送信中に CH [▲/▼] キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。
[▲] と [▼] キーでは音色が異なります。

※ ビープ音を OFF にしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

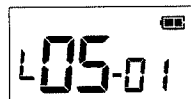
① [GROUP] キーを押す

グループ番号が点灯します。



② グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながら CH [▲/▼] キーを押して自分のグループのトランシーバーをすべて同じグループ番号にします。



③ 送信する

[PTT] キーを押しながら、マイクに向かって話します。
同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

※ グループトークはトーンスケルと呼ばれることがあります。
※ グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

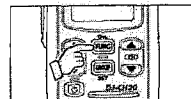
キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

●簡易キーロック(音量変更可能)

[FUNC] キーを約 2 秒押します。
[Loc1] が点滅した後、「0m」が点灯します。

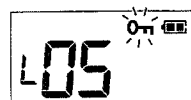
解除するには同じキー操作をします。



●通常キーロック(音量変更不可)

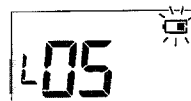
[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約 2 秒押します。
[Loc2] が点滅した後、「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



電池残量表示

電池の残量が少なくなるとバッテリーマークが「」表示になり、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「」表示になります。「」表示になった場合は、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。



※ 「電源が入らない」「オン/オフを繰り返す」「ディスプレイの表示が消える」などの症状が出た場合は電池の消耗が考えられるため、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。
工場出荷状態の「LO1」になります。



その他の機能

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> → 「電子事業」

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの 2 つのチャンネルを 1 秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1 台のトランシーバーで 2 台のはたらきをします。

※ 通話拡張機能に切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直してからリセットすることや正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。 表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 バッテリーパックを充電してください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違っている。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違っている。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	番号がなくなっているから送信するか、チャンネルを変更してください。	[PTT] キーを離し、2 秒経過後から送信してください。
	3 分の送信時間制限が経過している。	PTT オン/オフ機能を OFF に設定してください。
	PTT オン/オフ機能が OFF になっている。	PTT オン/オフ機能を ON に設定してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	バッテリーパックがきちんと装着されていない。	バッテリーパックを正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗しているとともに誤動作することがあります。バッテリーを充電もしくは新しい電池と交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に対しては下記の一定期間補修部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。
補修部品の保有期間は生産終了後 5 年です。

オプション一覧

EBP-80	リチウムイオンバッテリーパック (3.7V 980mAh スペア)
EDC-182	充電スタンド (スベア)
EDC-139	AC アダプター (スベア)
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EME-12A	VOX 付きヘッドセット (ヘッドホンタイプ)
EME-13A	VOX 付きヘッドセット (イヤホンタイプ)
EME-15A	VOX 付きタイピンマイク
EME-19A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク (業務仕様)
EME-29A	イヤホンマイク 耳かけ式 (業務仕様)
EME-30A	イヤホンマイク (ブームマイク)
EME-31A	イヤホンマイク (マイクロスピーカータイプ)
EME-39A	聴覚イヤホンマイク
EME-6	イヤホン
EME-26	コードイヤホン
ESC-55	ソフトケース
EDH-38	乾電池ケース (スベア)

(※1) スピーカーマイクは、PTT ホールド機能、VOX 機能を使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定 格

送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ~ 422.3000MHz
	ビジネスチャンネル	422.0500 ~ 422.1750MHz
電 波 型 式	F3E	
送 信 出 力	10mW	
受 信 方 式	ダブルスーパーヘテロダイナ	
受 信 感 度	-14dBu (12dB SINAD)	
中間周波数	1st IF 21.7MHz/2nd IF 450KHz	
音 声 出 力	100mW 以上	
通 信 方 式	単信方式	
定 格 電 圧	DC 3.7V / 4.5V	
動作温度範囲	-10 ~ 50°C	
寸 法	55(W) × 93.8(H) × 18.8(D) mm (突起物除く)	
	アンテナ長さ ロング 150mm / ショート 36mm	
重 量	約 110g (バッテリーパック含む)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。